

光市医師会報

平成4年1月号

No. 231



出 発 点

光市医師会

年頭にあたって

会長 福本 寿雄

明けましておめでとうございます。皆様方には御健勝にて新しい年を迎えられたことと拝察し、心よりお慶びを申し上げます。元旦にあたり、会員諸兄弟及び御家族様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

「昨年を振り返ってみますと、湾岸戦争、ソビエトの崩壊、普賢岳の噴火、台風19号の被害など、大変危険なニュースばかりで、あまり楽しい良い年ではなかったように思います。良いニュースといえば、秋篠宮紀子様様の御出産位でしょうか？」

一方、医療界に目を転じますと、「医療経済の危機」と言われて久しくなるのに、医療法改正・診療報酬改正が、なかなか実施されません。医療費は国民所得の伸び以下に抑制される一方で、組合健保・政管健保は大幅の黒字が指摘されており、全く矛盾も甚だしいと言わざるを得ません。最近の中医協からの報告では、本年4月から診療報酬点数が7.4%アップすると言われていますが、薬価基準が9.2%位引き下げになるようなので、実質の引上げ幅は、2.5%位にしかならないと言われております。もう少し日本医師会が力を入れて強力に推し進めてほしいと思います。

当医師会においては、昨年お二人の会員が逝去されました。御遺族の方々には、お淋しい正月を迎えられたことと存じ、御心情をお察し申し上げますとともに、逝去された会員の御冥福を心よりお祈り申し上げます。一方、昨年3月には、前田俊男先生が

米寿を迎えられ、5月に当会員達によるお祝をいたしました。88才を迎えられてもなおお元気な前田先生のお姿をみて、ほんとに嬉しく思い、我々も是非あやかりたいと思っております。また、高橋秀児先生が、眼科を開業されました。高齢化しつつある医師会に若い力が注入され、光市医師会も53名という大人数となり、また平均年齢も48.9才とすばらしく若くなって参りました。

一方、光市立病院においては、昨年10月で創立40周年を迎えました。医局員も18名と大世帯となり、専門科も充実し、医局員の年齢も41才と若々しくなりました。現在医療制度等によって、患者の病院指向が一段と強くなってきておりますが、それはそれとして、開業医と市立病院との連携が最も大切な時期にきていると思います。病診連携については、光市立病院の若い医師達を啓蒙していただいて、今後お互いに連携を密にして、地域医療のために尽くしてほしいと思っておる昨今です。

本年は、日本医師会を始め県医師会、郡市医師会の役員改選の年であります。殊に光市医師会においては、平均年齢も若返ってきたこと故、活気のある新しい役員を選出されることを大いに期待しております。

「一年の計は元旦にあり」と申しますように、会員の皆様、御家族は勿論のこと、光市医師会としても夢と希望にあふれた年であることを祈念して、新年の御挨拶いたします。(平成4年 元旦)

旧山陽道を歩く

近藤 龍一

昨年から旧山陽道を歩いている。呼坂の宿場から東へ向かって岩国まで歩き、ついで西に歩き続けて、現在小郡まで歩いた。もちろん1度に歩き通したわけではなく、休日に1～2時間ずつ歩き継いだもので、現在かなり遠くなっているのに、1日掛りとなり大変である。別段動機らしいものはなく、ある日、呼坂の本陣を見にいった、この道をたどればどこへいくのだろうと思って歩いてみたのが切っ掛けである。



山陽道は、近世になると脇街道となったが、幕府の道中奉行が管轄した5街道に次ぐ重要な道であった。一般には江戸往還、上方往還、九州海道などといい、萩藩では南前往還と呼んだ。道幅は2間と定められ、現在残っている道もほぼその通りで、ようやく車1台が通れる位である。防長両国における山陽道には25ヶ所の宿駅が設けられ、呼坂はその1つである。これらには本陣・脇本陣が置かれたが、今は殆ど残っていない。

さて、呼坂の本陣であるが、本陣とは名ばかりの誠にみすばらしいものである。造り酒屋が営んでいたらしいが、大大名の行

列ではとても収容できない規模である。ただ、街道には古い家並や大木が残っていて、宿場らしい雰囲気は感じられる。「吉田松陰、寺嶋忠三郎訣別の地」という石碑が建っていて、安政6年江戸へ送られる松陰をその弟子で高水村に住んでいた寺嶋忠三郎が、この地で師に無言の別れを告げたと説明板に書かれてある。近頃は市町村が郷土の歴史に熱心で随所に案内板を立てているが、こうした珍しい歴史を知ることも、歩くことの楽しみの1つである。車で走ってはいは、決して目にとまらないであろう。

東へ向かって細い道を歩いてゆく。しばらく歩くと、峠にかかる。中峠と呼ぶが、かなりの坂で息があがってしまう。途中に「はだし天国」なるものがあり、狭い道なのに大型バスが次々と走るのには閉口した。

頂上付近に石碑が建っていて、「従是西熊毛郡、従是東玖珂郡」とある。昔は各所にこうした石碑が建っていたものであろうが、私の歩いた範囲では、これ1本しか残っていなかった。すぐそばに



「御駕籠建場の跡」なるものがある。藩主や諸大名が籠をとめて休息した場所であるという。ただの原っぱだが、昔は茶屋があったのであろう。峠の麓には大抵この建場があったらしく、他にも多く残っている。私だけでなく、昔の人でも、やっぱりこた



えたのである。坂を降りると、道端に道祖神がある。天保6年4月とある。枯れた花が供えてあったから、今でも誰かが世話しているのだろう。

これから高森までは道が改修されて広くなっているので、昔の物は全く残っていない。ただ、途中の寺の横に「高水村塾之跡」という石碑が立っている。私塾か寺小屋の跡だろうが、こうした塾が大変多い。幕末の頃、萩藩はすこぶる教育に熱心な土地柄で、郷学は全国108校のうち19校あって全国1位、私塾は全国1,140のうち105あって4位、寺小屋は全国15,546ヶ所のうち1,307ヶ所あって第2位であったという。そのせいでもあるまいが、ここ熊毛町は、なかなか礼儀正しい土地である。道で休んでいると、リヤカーを押したお婆さんがニコニコして、「お暑う御座居ます」と挨拶してくれる。自転車にのった女子中学生が「コンニチワ」と言ってくれるし、下校途中の小学生が口々に「ただいま帰りました」と元気がよい。全然他人であるのに、何と気持ちのよいことか。他の土地ではこんなことはなかったから、熊毛教育委員会の功績かも知れない。

高森の宿場は、立派な本陣が残っている。しかし、道が拡張されたせいで建物はみんな新しくなってしまう、昔の風情はない。

「油屋」という旅館の屋号に面影を見出すのみである。それにしても暑い。道は田圃の中をクネクネと通り、木1本すらない。シャツは云うまでもなく、パンツまで汗でびしょりになってしまう。慶長9年、幕府は公道に並木を植えるように指示し、萩藩では松を植えることにした。並木植付けがいつから始まったかは明らかでないが、遅くとも正保2年には完成し、絵図面にも記されているから、立派な並木があった筈である。それが全く1本も残っていないとは、驚きであった。

玖珂をすぎ欽明路峠にかかる手前に、「周防源氏武田家敷跡」なるものがある。天文9年、安芸源氏の武田小三郎を毛利元就がこの地に移して、周防源氏の祖としたとある。代々文武両道の稽古屋敷として続き、



呉港学園等の学校を多く設立したそうである。屋敷は荒れ果てているが、初代の墓が残っている。欽明路峠は別名中山峠といい、周防随一の難所である。坂は急で長く、木が鬱蒼と繁って追い剥ぎが出そうである。昔の人は、さぞ難儀をしたことであろう。頂上付近では、山陽自動車道がトンネルを掘って盛んに工事をしている。新旧の道路が交叉して、最も歴史を感じさせる所である。道は、そのまま岩国に至り安芸の国へと続く。呼坂から西の道も色々面白いものがあるが、また機会があれば御報告したい。

平成3年度 光市児童生徒の集団心臓検診結果

(光市医師会学校医部会)

実施時期及び場所

平成3年6月5日～6月12日まで6日間
各小・中学校の保健室

児童・生徒の心臓病検診対象者

- ・小学校1年生 555名
- ・中学校1年生 745名
- ・他の学年で校医が必要と認めた者 18名
- 計 1,318名

[小学校]

1年—555名 2年—2名 計 557名

[中学校]

1年—745名 2年—15名 3年—1名
計 761名

心臓検診最終結果

一次検診	二次検診	異常なし または 管理不要	要管理
------	------	---------------------	-----

[小学校]

計	557名	2名	1名	1名
%	100%	0.36%	0.18%	0.18%

[中学校]

計	761名	7名	4名	3名
%	100%	0.92%	0.52%	0.39%

[小・中学校計]

計	1,318名	9名	5名	4名
%	100%	0.68%	0.38%	0.30%

(学校医部会—福本先生作成の)
資料より抜粋したものです。

今年度心臓検診による要管理者の病名

病名	小学生	中学生	計
心室性期外収縮	1	2	3
上室性期外収縮	0	1	1
計	1	3	4

平成3年度 現在要管理者全員の病名

病名	小学校	中学校	計
心室中隔欠損症	5	2	7
心房中隔欠損症 +肺動脈狭窄	1	0	1
動脈開存症	1	0	1
心筋症	0	1	1
アフロ一四徴症 術後	3	0	3
心室中隔欠損症 術後	1	1	2
心内膜床欠損症 術後	0	1	1
上室性期外収縮	0	2	2
心室性期外収縮	4	11	15
完全右脚 ブロック	3	0	3
wenkebach 房室ブロック	0	1	1
W・P・W症候群	0	3	3
L・G・L症候群	1	0	1
川崎病後 (冠動脈瘤)	1	0	1
左軸偏位+不完 全右脚ブロック	1	0	1
不完全右脚 ブロック	1	0	1
P Q 短縮	1	0	1
房室解離	0	1	1
計	23	23	46

忘 年 会

12月12日 午後7時 (於)湯野温泉 紅葉館

〔福本会長挨拶〕

年をとると、1年があっという間に過ぎたような感じがします。今、梅田先生が言われたように、光市医師会には大きな混乱もなかったように思います。ただ、2月に吉田先生、4月に田尻先生が亡くなりました。しかし、5月には前田俊男先生の米寿のお祝いをしました。非常にお元気なので心強く安心しました。

光市医師会も人数を調べてみますと、今年5名退会され、6名入会されました。交代の先生が多かったのですが、1名増になりまして現在53名です。ですから、来年の県の役員は代議員が2名になり、予備代議員が2名ということになります。そして、光市医師会も、来年1月に改選ということ

になっております。ひとつ今後の光市医師会がより発展するために、役員の方々の素晴らしい改選を期待しております。

昨日、日医のFAXニュースがきておりましたが、来年4月に点数改正薬価切下げが実施されるようで今がたがためておりますが、どうも薬価は9%ぐらい下がるけれども、実質にあがるのは2.5~2.6%ぐらいになるのではなかろうかというような事が書いてありました。もう少し日医もしっかりしてくれないといかんと思うのですが…。そういう意味においても厳しい診療体制だと思いますので、来年もひとつ張り切ってやっていただきたいと思います。

〈 飲 談 の ひ と こ ま 〉



12月度月間行事・会議等

日	曜	行事・会議	場所	出席者
7	土	高村正彦氏祝賀会	ホテル丸福 (徳山市)	福本
12	木	忘年会	湯野温泉	33名
14	土	生涯教育委員会	県医師会館	富恵
13~18	金~水	国保審査委員会	山口市	富恵・板垣
19	木	県医保険委員・県保険課合同協議会	県医師会館	富恵
20	金	心電図研究会	光市立病院	7名 (光市医師会)

心電図研究会 (第42回)

光市・下松医師会合同
12月20日(金) 午後7時30分~
於 光市立病院

〔演題〕 「心電図の読み方」

〔講師〕 河野隆任先生

〔症例〕

①66才 ♀ (主訴) 胸痛 (EKG) V₂
~V₆の冠性T (診断) 心内膜下梗塞—
左前下行枝90%閉塞

②88才 ♂ (主訴) 意識障害 (診断)
洞不全症候群

〔協議事項〕 —忘年会時

1) 死亡診断書、出生届に関する件
本籍と現住所が異なる場合も1通でよい
ことになった。4年1月1日より承諾。

2) 被爆者検診の件
個別でおこなうこととする。

光医歯会忘年ゴルフコンペ

12月15日(日) 於 虹ヶ浜カントリークラブ

順位	氏名	アウト	イン	グロス	HD	ネット
優勝	須賀	40	42	82	26	56
2位	冬野	47	45	92	30	62
3位	浅海	51	50	101	30	71
4位	前田	42	47	89	17	72
5位	光武	39	43	82	8	74
6位	赤崎	47	41	88	13	75
7位	清水	56	56	112	36	76
8位	竹中	44	52	96	18	78
9位	平田	45	42	87	8	79
10位	森本	47	41	88	5	83
11位	横山	45	44	89	6	83
12位	藤村	44	46	90	7	83
13位	松村	59	57	116	28	88

謹んで新春の
お慶びを
申し上げます



＝ 編集後記 ＝

今年は暖冬なのでしょうか。年が明けて厳しい寒さの日が少ないまま大寒にはいっております。小寒から大寒までの15日間と、大寒から立春までの15日間の30日間を「寒の内」と言いますから、まだ寒い日が待っているかもしれません。

今月は福本先生、近藤先生に原稿をいただきました。近藤先生の過ぎし昔のロマンを求めて旅をされる姿、大変うらやましく思いました。有難うございました。

忘年会の写真撮影では、フラッシュの電池が切れたり、フィルムが途中で無くなったりと大失態を演じ、迷カメラマンぶりを発揮してしまいました。つまらない写真ばかりをとり申し分けありません。

今年もよろしく願い申し上げます。

(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	福本寿雄
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社